

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和2年度 第5回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	令和3年3月3日(水) 19:00～20:00
開 催 場 所	高松市医師会館 2階大会議室
議 題	1 退院支援・医療介護連携部会より 2 在宅医療コーディネーター部会より 3 多職種連携部会より 4 ICT 部会より 5 高松市在宅医療支援センターより 6 令和3年度全体スケジュール(案)について 7 その他:高松市在宅医療介護情報サイト(案)について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	18人 吉澤委員長、大原職務代理、大橋委員、橋本委員、長内委員、片山委員、北代委員、田中委員、辻委員、中村委員、林委員、坂東委員、古川委員、松本委員、三橋委員、三宅委員、和田委員
関係者	市医師会事務局(2人) その他:医師会(伊藤会長、和田副会長、香西理事、西口理事) 歯科医師会(井上理事)
傍 聴 者	0人
担 当 課 及 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進係 839-2346 在宅医療支援センター 839-2344 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811 保健医療政策課 839-3805

協議経過及び協議結果

1 退院支援・医療介護連携部会より

Q 委員より説明

○第7回、第8回退院支援・医療介護連携部会(1/15、2/19)の報告

- ・入退院支援ルールは、内容について大枠が完成しているので周知方法について検討。一つは、医療介護連携ミーティングの開催時は、その場での周知を行う。しかし、コロナ禍の状況にあり開催が難しい。もう一つは、高松市在宅医療介護情報サイトホームページへの掲載と名刺サイズのカードを配布する。カードには、入退院支援ルールのポイントを記載し、QRコードを印字して読み取ってもらい入退院支援ルールのサイトにとんでいく方法を検討している。現在、試案を作成中。
- ・入退院支援情報共有シート別紙「その時に備えて」のACPについて記載する部分は、多職種連携部会が作成しているACPのリーフレットと併せての使用を検討中。

- ・新型コロナウイルスワクチンに関する情報提供がA委員よりあった。

2 在宅医療コーディネーター部会より

C 委員より説明

○第2回在宅医療コーディネータースキルアップ研修会の報告

- ・1月10日開催、参加者20名。テーマは、「ACPについて」方法はZoomで、講師は、国立長寿医療研究センターの西川先生と居宅介護支援事業所介護相談所和び咲びの大城さんで実施。

【研修内容】

- ・ACPとは？地域でのACPのイメージを共有：本人の思いを実現するプロセスであり、支援者は「積極的待機」の姿勢が大切。
- ・2つの事例を通してACPの基本形を学んだ。
- ・コミュニケーションの基本：一方的な話しではなく相手の感情の動きを見逃さない事に気をつけながら、反復と沈黙のロールプレイの実施。
- ・在宅現場とACPについては、事例③の例でロールプレイを通して、もしもの時について考えた。

3 多職種連携部会より

B 委員より報告

○第4回多職種連携部会（1/13）の報告（資料3）

○令和2年度多職種連携研修会（2/6）についての報告（研修アンケート結果）

- ・2/6研修会の研修アンケート結果から参加者は、72名。介護支援専門員の参加が一番多かった。特別講演は、江沢先生の「コロナウイルス感染症の事例と対策について」で内容がよく理解できたと回答している人は64%と高い割合になっている。グループディスカッションに対しても良い評価を得ている。研修方法としてオンライン研修が良いと回答された人は40%、どちらでも良いが半数となっている。非常に盛り沢山の内容であったが段取りよく進行できた。

○高松市版のACPのパフレット（案）と記録用シート（案）についての説明

- ・表紙の文言は2パターン案があるが、本日の部会で最終決定を行う予定。内容は、ACPの説明用紙と記録用シートの構成となる。3月中には完成をさせて配布をしていきたい。

F 委員より ACPのパフレット（説明用紙）は、これから始めるという意味合いで「人生会議をはじめよう」で、記録用シートは、このタイミングで何回もしませんかの意味合いで「人生会議をしませんか」が良いと思う。

4 ICT部会より

事務局高松市医師会事務局より、在宅ケア便利ナビの更新について報告。

5 高松市在宅医療支援センターの報告

在宅医療支援センターより、1・2月の活動報告

【相談件数】 1月：16件、2月：6件

【相談事例の紹介】 1月及び2月の相談事例から紹介

6 令和3年度全体スケジュール（案）について

事務局

- ・事業項目ア～キの確認。
- ・親会議は、奇数月2か月に1回の開催。部会は、ルールも完成してきたので偶数月での開催とする。医療介護連携ミーティングは、コロナの影響もあると思うが年3回開催の予定としている。入退院支援ルールの周知ミーティングは、第1回目を7月とし、医療関係者向けへの周知を11月と考えている。在宅医療介護情報サイトは、今年度中に稼働予定。在宅医療コーディネーター連携研修

は、期をまたいだ交流研修をしたい。地域住民への普及・啓発は、ACP について年間を通じて行っていくとともに、11月に在宅医療の日が位置付けられていることもあり、強化月間として在宅療養や ACP について周知・啓発を強化していく。

A 委員 やり始めた事は、尻すぼみにならないように継続してやり続けていくことが必要。資源の把握、課題の抽出は持続的に行っていく必要がある。スケジュールにない事でも問題提起をして新しいことにも取り組んでいって欲しい。

7 その他 高松市在宅医療介護情報サイト（案）について

事務局

・ホームページのキャッチコピーについて：投票の結果、「住み慣れた町で暮らす」が過半数の方に選択されていた。

・ホームページ内は、全てではないが現在情報が掲載されている状態である。QR コードの読み取りで確認ができる。3月中に形を整えてアップできるようにしたい。

A 委員 市の政策や在宅医療介護連携推進会議全体の内容を今後ホームページ上に掲載していく。行事、各職種団体の PR や行事予定を掲載し活発に更新されていくものに出来たらよい。各職種団体のホームページへのリンクをはるのもよい。内容は、市民向けと医療介護の専門職向けにわかれている。

○次回の会議日程

令和3年5月19日（水）19：00～